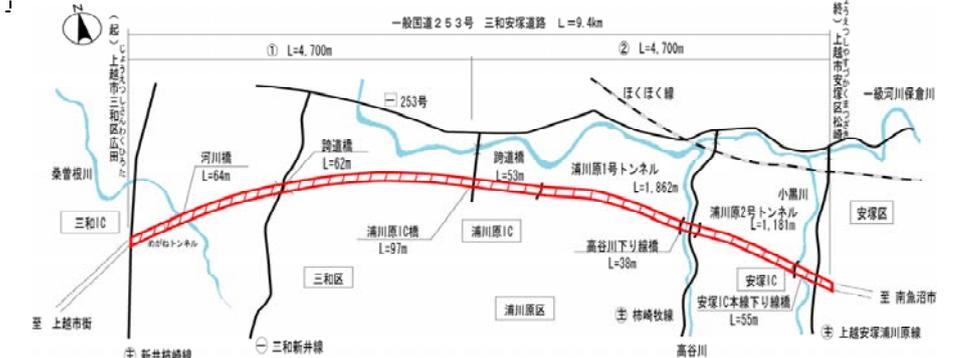


再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名 : さんわやすづか 三和安塚道路（一般国道253号）	事業区分 : 一般国道	事業主体 : 新潟県
起終点 : 自：上越市三和区広田 至：上越市安塚区松崎	延長 : 9.4 km	
事業概要 : 上越魚沼地域振興快速道路は、高規格幹線道路である北陸自動車道、関越自動車道と連携し、信頼性の高い循環型広域ネットワークを形成する路線である。三和安塚道路は、その一部区間を構成する4車線（暫定2車線）道路である。		
H9年度事業化	都市計画決定なし	H10年度用地着手
H10年度工事着手		H10年度工事着手
全体事業費 : 370億円 事業進捗率 : 59% 供用済延長 : km		
計画交通量 : 11,300台/日		
費用対効果分析結果	B/C : (事業全体) 1.3 (残事業) 3.9	総費用 : (残事業)/(事業全体) 126 / 377 億円 (事業費 : 116/367億円 維持管理費 : 10/10億円)
総便益 : (残事業)/(事業全体) 491 / 491 億円 (走行時間短縮便益 : 399/399億円 走行費用減少便益 : 75/75億円 交通事故減少便益 : 17/17億円)		基準年 : 平成18年
感度分析の結果 :		
事業の効果等 : 国土・地域ネットワークの構築・・・日常活動圏の中心都市「上越市」へのアクセス向上が見込まれる。 安全で安心できるくらしの確保・・・第3次医療施設「県立中央病院」へのアクセス向上が見込まれる。 災害への備え・・・第1次緊急輸送道路を補完する道路であり、地域の緊急時安全性の確保を支援する。他5項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 : 「上越魚沼地域振興快速道路建設促進期成同盟会」が組織されており上越市をはじめとする関係3市2町の首長で構成され、国・県に積極的に要望活動(平成18年7月14日)を行っている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 : 上信越自動車道全線開通(平成11年10月)、郊外型ショッピングセンターにより、交通量が増加している。(H11センサス:9,670台/日 H17センサス:11,396台/日)		
事業の進捗状況、残事業の内容等 : 一部区間において道路計画協議が難航をしているが、浦川原IC～安塚IC間は、順調に工事が進んでいる。残事業は、9.4kmのバイパス工事(暫定2車線)である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 : 当該事業は地域高規格道路として位置づけられる大規模事業であり、鋭意進捗を図っている。浦川原IC～安塚IC間においては、平成21年度供用に向け整備を進めている。		
施設の構造や工法の変更等 : 安塚IC形状において、立体交差から平面交差に変更しコストの縮減を図っている。		
対応方針 : 事業継続		
対応方針決定の理由 : 事業の必要性や重要性は高く、事業進捗も見込まれることから、継続が必要である。		
事業概要図 :		
		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。